

在宅酸素療法を実施している 患者居宅で発生した火災による重篤な健康被害の事例

一般社団法人 日本産業・医療ガス協会
在宅酸素部会

当協会会員会社において、平成15年10月以降に発生した「在宅酸素療法実施中の患者居宅で発生した火災による重篤な健康被害の事例」を調査・集計しましたのでご報告します。

各会員会社では、在宅酸素療法を行う患者様ならびにご家族に対し、機器設置および定期点検などの機会に、安心して安全に使っていただけるよう機器の使用方法および注意点などについてご説明しています。

また、一層の安全対策が図られるよう、酸素吸入中の喫煙および火気の危険性を充分説明し、火災事故防止に引き続き努めてまいります。

<報告の基準>

「在宅患者居宅で火災が発生し、患者様が死亡ないし重体もしくは重傷を負った場合」
(火災の発生を喫煙のみに特定せず、原因が特定できない場合も含む。)

日本産業・医療ガス協会 医療ガス部門まとめ(平成27年5月末時点)

No	発生日月	場所	年齢(性別)	被害状況	原因(推定含)
1~19	平成15年12月~平成19年12月			死亡 18件、重症 1件	喫煙、漏電、ストーブ他
20	平成20年3月	山口県	70代(女)	死亡	喫煙
21	平成20年11月	東京都	70代(男)	死亡	ライターで線香に着火
22	平成21年1月	奈良県	90歳以上(男)	死亡(焼死)	ストーブ
23	平成21年2月	鹿児島県	50代(男)	死亡(焼死)	喫煙
24	平成21年3月	千葉県	80代(男)	死亡(焼死)	ストーブか仏壇
25	平成21年5月	埼玉県	70代(女)	死亡(焼死)	(不明:電源タップ付近)
26	平成21年10月	京都府	80代(男)	死亡(焼死)	喫煙
27	平成21年11月	兵庫県	60代(女)	死亡(焼死)	(不明)
28	平成21年12月	東京都	70代(男)	重症(火傷)→死亡	(不明)
29	平成22年1月	大阪府	80代(男)	重症(火傷)→死亡	喫煙
30	平成22年9月	神奈川県	60代(男)	死亡(焼死)	(不明:煙草の不始末か)
31	平成22年9月	東京都	70代(男)	死亡(焼死)	(不明:喫煙者でない)
32	平成22年11月	徳島県	80代(男)	死亡(焼死)	(不明)
33	平成23年1月	大阪府	40代(女)	死亡	(不明:喫煙か)
34	平成23年1月	兵庫県	80代(男)	死亡(焼死)	(不明)
35	平成23年4月	長野県	70代(女)	死亡(焼死)	煙草の不始末
36	平成23年4月	岡山県	60代(男)	死亡(焼死)	煙草の不始末
37	平成23年9月	和歌山県	70代(男)	死亡(焼死)	(不明:ローソクか)
38	平成24年6月	岡山県	80代(男)	死亡	喫煙
39	平成24年11月	京都府	70代(女)	死亡(焼死)	(不明:ストーブか)
40	平成24年11月	大阪府	60代(男)	死亡(焼死)	(不明:喫煙か)
41	平成25年3月	福岡県	80代(男)	死亡(焼死)	(不明)
42	平成25年8月	沖縄県	70代(男)	重症(気道内火傷)	(不明)
43	平成25年11月	新潟県	80代(女)	死亡(焼死)	(不明:ストーブか)
44	平成25年11月	山形県	70代(男)	死亡(焼死)	(不明)
45	平成25年12月	大阪府	80代(女)	死亡	(不明)
46	平成26年1月	埼玉県	80代(男)	死亡(焼死)	漏電
47	平成26年1月	岐阜県	60代(女)	死亡(焼死)	漏電
48	平成26年1月	秋田県	70代(男)	死亡(焼死)	(不明:ストーブか)
49	平成26年4月	長野県	70代(男)	死亡	(不明)
50	平成26年5月	愛知県	70代(男)	死亡(焼死)	(不明)
51	平成26年8月	大阪府	80代(女)	死亡	喫煙
52	平成26年10月	東京都	70代(男)	死亡	喫煙
53	平成27年2月	大阪府	80代(男)	死亡(焼死)	(不明)
54	平成27年4月	千葉県	80代(女)	死亡	(不明)
55	平成27年5月	埼玉県	60代(男)	死亡(焼死)	(不明)

(※印:平成27年6月更新分)

※
※
※



火気厳禁



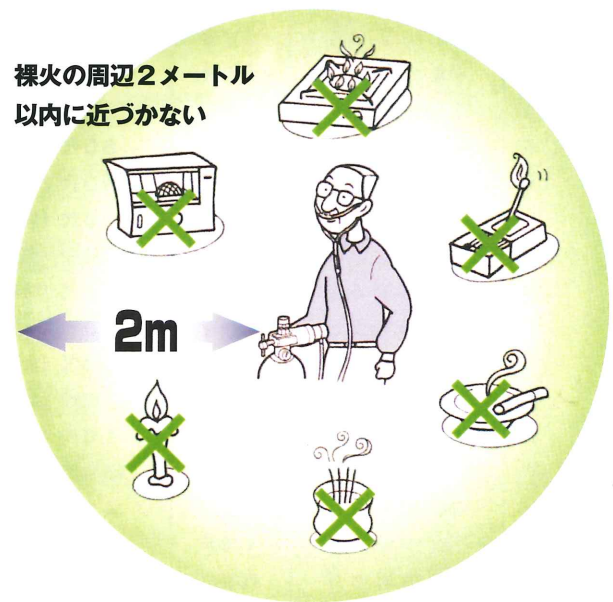
禁煙

在宅酸素療法での火気との距離制限

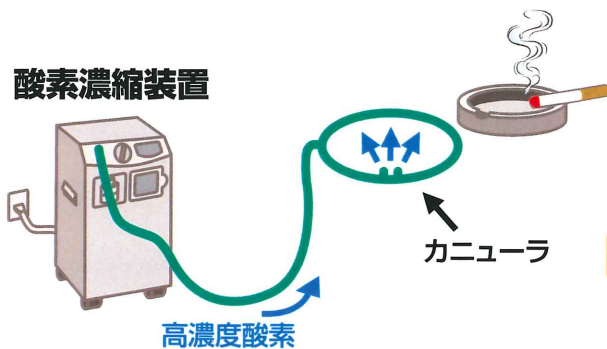
1. 酸素濃縮装置、酸素ボンベ、液化酸素容器からは …… **2m 以上**

2. 液化酸素を設置型装置（親容器）から携帯型装置（子容器）に移充填するときは …… **5m 以上**

3. 吸入用のカニューラ、携帯型の酸素ボンベや液化酸素装置及び延長チューブ、吸入中の患者自身も火気の直近に近寄ってはならない



酸素濃縮装置

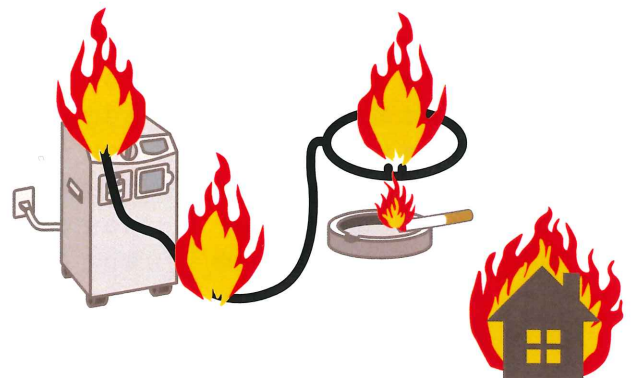


カニューラ

高濃度酸素

一度消えたはずの火が、再度点火することもあります。

タバコなどの火が近付いた場合



一度火がつけば、すごい勢いで火が燃え移ります！

出典：(独) 医薬品医療機器総合機構 医療安全情報 No4 2008年6月

※ 火気の手扱いに注意し、取扱説明書どおりに正しく使用すれば、酸素が原因でチューブや衣服等が燃えたり、火災になることはありません。